

KIRIBATI

A vibrant tropical beach scene. In the foreground, two traditional thatched huts with steeply pitched roofs made of dried palm fronds stand on a sandy beach. The hut on the left is partially obscured by a dense thicket of green pandanus trees. A tall, slender palm tree stands in the center, its trunk leaning slightly. To the right, another thatched hut is visible, with a hammock strung between its posts. The background shows a clear blue sky with a few wispy clouds, a white sandy beach, and the turquoise ocean meeting a distant horizon. The overall atmosphere is bright and sunny.

キリバス共和国ガイドブック

刊行にあたって

本資料は太平洋諸島センターの活動対象となっている太平洋島嶼国12カ国・2地域のうち、キリバスに関する観光情報を出来るだけ詳しく取りまとめたものです。また、同国をできるだけ広く理解していただくために、観光情報以外にも同国の歴史、産業、社会等についても簡潔に紹介いたしました。

本資料で取り上げたキリバスは自然豊かでユニークな観光資源を有しており、同国政府は観光開発に力を入れていますが、日本からの訪問者数は未だ限られています。本書が同国を訪問される際の参考となり、また同国につき理解を深めていただくための一助となれば幸甚です。

2009年12月

国際機関 太平洋諸島センター

キリバス



正式国名	キリバス共和国 (Republic of Kiribati)
面積	811平方キロメートル (無人島を除いた面積は717km ²)
人口	98,989人 (2009年キリバス統計局)
首都	タラワ (Tarawa)
民族	ミクロネシア系 (98%)、その他ポリネシア系及び欧州人が居住
主要言語	キリバス語、英語 (共に公用語)
宗教	キリスト教 (主にカトリック、プロテスタント)
政体	共和制
1人当りGNP	1,629オーストラリア・ドル (2008年暫定値、キリバス統計局)
通貨	オーストラリア・ドル (A\$)
電話の国番号	(686) + (相手先の番号)

目次

キリバスの概要	2
首都タラワ	13
その他の島々	27
クリスマス島	31
関係先リスト	40

キリバスの概要

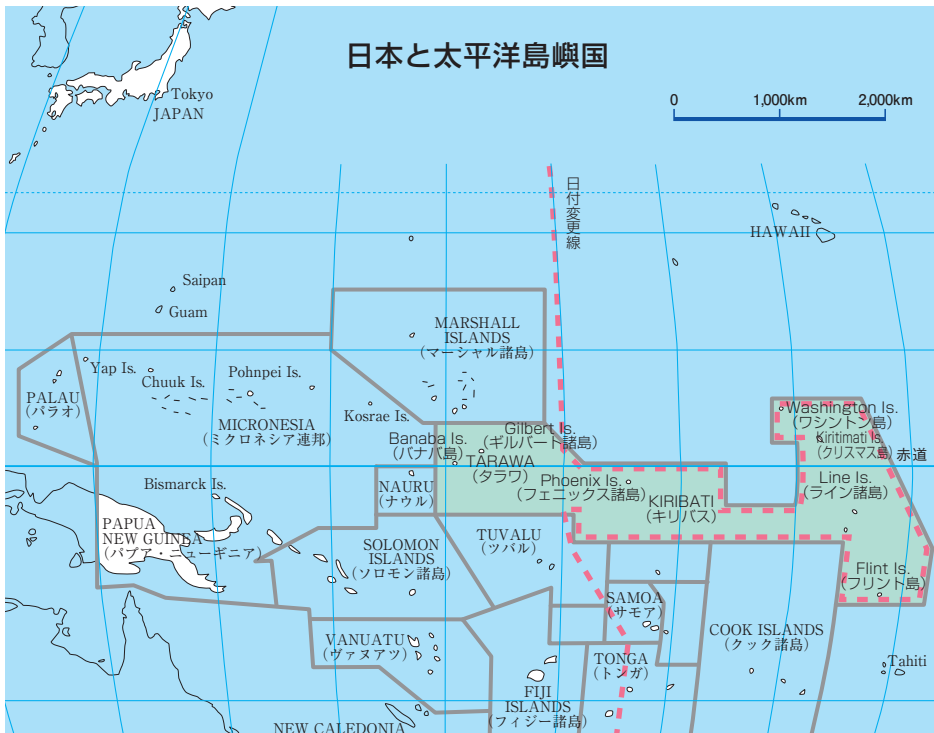
地理

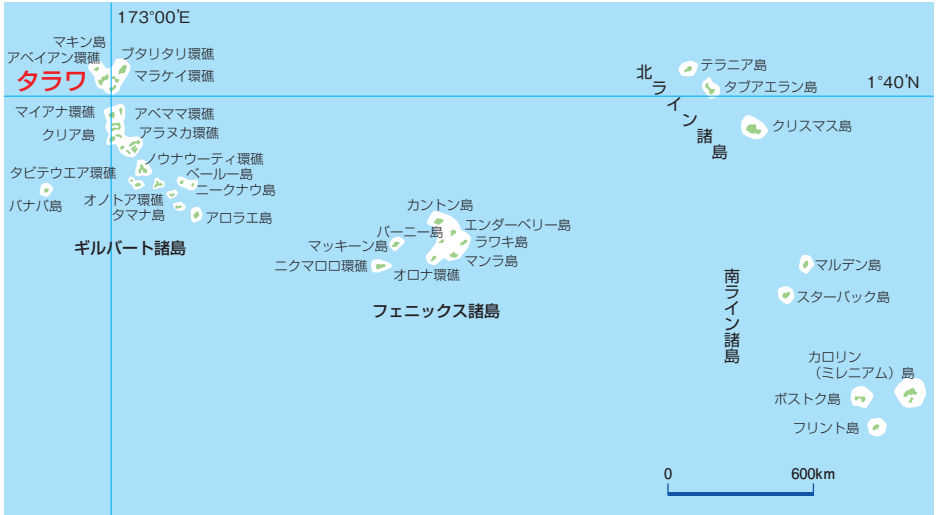
キリバス共和国は、赤道と東（西）経180度の交わる点を中心に西から、ギルバート諸島、フェニックス諸島、ライン諸島の3つの諸島群からなり、西端のバナバ（オーシャン）島（東経169度、ニュージーランドのほぼ真北）と東端のクリスマス島（西経150度、ハワイの真南）の東西間が3,870km、北端のワシントン島（北緯5度）と南端のフリント島（南緯11度）の南北間が2,050kmと、広大な水域に33の島（環礁）が散在している。世界第3位を誇る広大な排他的経済水域を有して

いる。

国土の総面積は無人島を含めると811km²、有人島のみだと711km²（対馬とほぼ同じ）で、その約半分（364km²）をクリスマス島が占めている。首都はギルバート諸島にあるタラワである。

各諸島はサンゴ礁でできており、ほとんどの島にはラグーン（礁湖）がある。隆起性珊瑚でできているバナバ島の最高地点は81mであるが、その他の島では海拔3.5mを越えるものはほとんどなく、大部分は平坦である。地球温暖化による海水位の上昇は深刻な問題と捉えられている。





気 候

海洋性の亜熱帯気候で、平均気温は26～32℃の間にあり年間の格差は小さい。年間降雨量は地域により差が大きく、それぞれの地域の平均はクリスマス島の700mmからワシントン島の4,000mmまで変化に富んでいる。首都タラワは1,500mmである。海洋性気候のため、平均湿度は75～80%と比較的高い。



歴 史

キリバスの起源は、ギルバート諸島の神話によれば、創造神ナレアウが先祖の木から花を摘んでサモア北方の海に蒔き、タラワとベル、タビテウエアの島を造り、それが分裂して現在の33の島になったと伝えられている。その島々に紀元前40年頃、フィリピンから人々が船で移住した、あるいは紀元2～5年に南太平洋より東から吹く風を利用してポリネシアの人々が移り住んだようである。

1606年、スペイン人探検家デ・キロスがブタリタリ環礁の島を確認。1788年には英国海軍大佐ギルバートが上陸したことから、その名前が国名となった。キリバスはギルバートが現地語化したものである。1892年英国の保護領となり、1916年にはギルバート諸島はエリス諸島（現在のツバル）と共に英国に併合され植民地と

なった。

1941年に日本が一時支配したが、2年後の43年には米軍がタラワやブタリタリ（旧称マキン）を占領。終戦後は再び英国の植民地となる。1956年から英国の核実験がクリスマス島で実施され、さらに1962年には米国が核実験を行った。

1975年10月、ポリネシア系住民が中心だったエリス諸島が合法的に分離され、1978年にツバルとして独立。その後ギルバート諸島も独立についての合意が英国政府との間で成立し、1979年7月12日にキリバス共和国として独立した。

人口・民族

キリバスの人口は約98,000人で、このうち85%以上はギルバート諸島に住んでいる。バナバ島の人口は約200人（2001年）、フェニックス諸島は約40人（2005年）、ライン諸島には約1万人が住んでいる。人種的にはミクロネシア系が98%と圧倒的に多く、その他若干のポリネシア系、欧州人が続く。



キリバスの少女

政治

英連邦の一員であるが、独立以来総督は派遣せず共和制を採用している。議会の定員は46名。議員は23の選挙区から選ばれ任期は4年。議員選挙の後、議会で議員の中から3名ないしは4名の大統領候補を選出し、国民の選挙によって大統領を決定する。大統領の任期は4年である。大統領・副大統領を含め最大12名の大臣および司法長官により内閣が構成されている。なお、中央政府の他、行政区が全国3区（ギルバート諸島・ライン諸島・フェニックス諸島）あり、更にその下に6地区（バナバ・中央ギルバート諸島・ライン諸島・北ギルバート諸島・南ギルバート諸島・タラワ）に行政が区分され、地方行政官が置かれている。



キリバスの国会議事堂

経 済

キリバスの経済は1900年ごろから1979年までの約70年間にわたり、バナバ（オーシャン）島のリン鉱石に依存していた。しかし、79年に英国から独立した時には既にリン鉱石は枯渇しており、以降リン鉱石に替わる輸出品の開発が大きな課題となっている。現在のキリバスの主な輸出品は魚介類（特にマグロ）、コブラ、海塩、海藻、観賞魚などである。キリバスはカツオ・マグロといった水産資源の宝庫である広大な経済水域を有するため、水産資源はリン鉱石枯渇後の最も重要な資源として期待されている。しかし、沿岸海域中心の小型船団による操業では実績をあげるの難しく、近年では観光開発の努力も行っており、クリスマス島などが有望視されている。主な財政収入源としては、関税等収入

の他、外国漁船入漁料、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）によるクリスマス島地上局使用料、諸外国からの援助および過去のリン鉱石の売上の一部を積み立てた歳入均衡準備金（RERF: Revenue Equalization Reserve Fund）の運用益などがある。

日本との関係

戦前はギルバート諸島のブタリタリに、日本の貿易会社が支店をおき、海運業やヤシ、コーヒー、麻などの栽培やこれら製品の貿易、真珠の養殖、搾油事業などを行っていた。太平洋戦争中はバナバ、タラワ、アベママを日本軍が占領。特にタラワは激戦地として知られている。その後キリバスは1979年に独立し、戦前からの深い関係を引き継ぐ形で、日本からの経済援助が継



続している。ビケニベウ発電所、トゥンガル総合病院、ダイニッポン小学校などが日本の経済援助によって建設された。

貿易関係では、日本は主に自動車、船舶用エンジン、船外機、金属製品を輸出している。一方キリバスからの輸入品としては魚介類（かつお、まぐろ）などが中心であるが、近年はクリスマス島で採取される海塩の輸入も増えてきている。2008年の貿易高は日本からの輸出が約5億5千万円、キリバスからの輸入が1億6千万円であった。

キリバスの漁業訓練センター（15ページ地図）では日本人講師による漁法や日本語の指導が行われており、センターを卒業した多くのキリバスの若者が日本の漁船で働いている。

キリバスは太平洋戦争中の激戦地となり、現在でも海辺に日本軍の大砲などが放置されているが、日本の経済協力などもあり、日本人に対して親近感を持っている人は多い。

特産品

キリバスの特産品としては、まず魚介類が挙げられる。新鮮な魚介類はもちろん、タラワではツナジャーキーが製造されている。



る。近年ではクリスマス島で製造された天然塩も人気がある（日本でも購入できる）。その他ハンディクラフトもお土産として人気があり、パンダナス（タコノキ）製のバスケットやバッグ、マットなどや貝がらでつくったアクセサリーなど種類も豊富である。

社会と生活

●言語

公用語はキリバス語および英語であるが、日常生活ではほとんどキリバス語が使用されている。

【キリバス語の簡単な日常会話】

こんにちは	Mauri. (マウリ) (時間帯を伴わない挨拶)
さようなら	Tia bo. (ティア・ボー)
ありがとう	Ko rabwa. (コ・ラブワ)
お願いします	Taiaoka (タイアオカ) Bubuti(ブブティ)
はい	Eng (エン)
いいえ	Tiaki (サキ)
お元気ですか？	Ko uara? (コウアラ?)
はい、元気です。 あなたは？	I marurung (イメルルン) Ao nkeee? (アオンケー?)



「マウリ」と挨拶してみよう

●宗教



19世紀後半からキリスト教の伝道活動が行われており、主な宗教はローマ・カトリックとプロテスタントである。

●人々

キリバスの人は大らかで屈託がない。豊富な水産資源とヤシによって日常の食生活に心配がないことから、金銭にはあまり執着がなく「持てるものから持たざるものへ」の風習は今も根強く残っており、一族でしっかり助け合って生活している。キリバスには「Bubuti システム」というものがあるが、これは全ての人は平等であり等しく権利を有するという考え方である。例えば誰かが「あなたのTシャツを欲しい」と言った場合、言われた人はTシャツをその人にあげなければならない。しかし翌日、自分があげたTシャツを着ている人のところに言って逆に「あなたのズボンが欲しい」と言えば、彼の履いているズボンを手にすることが出来る、という助け合いの精神である。

また、日本人にはなかなか馴染めない習慣かもしれないが、約束の時間に行くと誰

もいなかったり、何も用意されていなかったりする。現地の人は、このようなんびりした時間感覚を「キリバス・タイム」と呼んでいる。ホテルのチェックインの時間に行っても誰もいないこともあるかもしれない。腹を立てず郷に入れば郷に従うの精神でキリバスを理解しよう。

●伝統行事

キリバスの独立記念日である7月12日は、毎年バイリキ国立競技場で盛大な記念行事が催される。色彩豊かなパレードと伝統舞踊、カヌー・レースなどが人気のある催しである。キリバスの伝統舞踊では女性のコスチュームが独特である。パンダナス



マネアバ



キリバスの踊り

の葉で編んだ冠に白い上着、黒い腰みのを着け、多くは未婚の女性が優雅に踊る。男性の踊りは勇壮で、男女と一緒に踊ることはほとんどないという。踊り手の後ろでは数十人の男女が独特の調子で声を張り上げて歌う。村の行事としてのダンスは、マネアバと呼ばれる集会所で行われる。

●マスメディア

ラジオ放送はRadio KiribatiがAM、FM放送を行っている。その他オーストラリアのABC Asia-Pacificと米国のCNNラジオ、英国のBBCワールドサービスもタラワで受信できる。新聞は政府系週刊誌「TE UEKERA」のほか、「Kiribati Newstar」がある。



Radio Kiribati



キリバス語でかかれた新聞

●スポーツ

娯楽として人気があるのはサッカー、バレーボール、テニス等である。また伝統的なスポーツとして、日本の相撲に似た格闘技「カウン・ラバタ」というキリバス式レスリングがある。人に投げ飛ばされることをキリバスの人は屈辱と考えるのでラグビーのようなスポーツは、それほど盛んではない。



カウン・ラバタ

旅行者のためのアドバイス

パスポートとビザ

一般的な観光目的でのキリバスへの渡航には、日本国籍の者のビザは不要（2009年10月現在）。入国には残存期間が6ヶ月以上のパスポートと帰りの航空券が必要。学術調査や商業用撮影のためキリバスに入国する者は、キリバス環境土地農業開発省（Ministry of Environment, Land & Agriculture Development）に事前申請の上、350オーストラリア・ドルを支払わなければならない。商業用撮影をしない一般の旅行者が立派なカメラと機材を持っている場合は、空港の入国審査で誤解を招かれる恐れもあるので注意すること。

■問い合わせ先

キリバス共和国名誉総領事館
東京都港区北青山1丁目2-3 青山ビル13F
Tel : (03) 5411-5967
Fax : (03) 5411-5970

税 関

紙巻タバコ2本、または225g以内の葉巻、葉または棒状タバコ、そして1リットル以内のスピリッツ1本か2リットル以内のワイン（21歳以上の者に限る）、個人使用に適した量の香水は免税でキリバスに持ち込むことが可能。双眼鏡、カメラ（フィルムは6本まで）、小型映画撮影機（フィルムは200mまで）、ラジオ、テープレコー

ダー、タイプライターおよびパソコンは税関申告を行えばそれぞれ一台まで免税で持ち込むことができる。

出国税

2歳以上の国際便旅客は出国時に20オーストラリア・ドルの出国税が必要となる。

時 差

キリバスは東西に大きく広がっているため、国内でも場所による時差がある。日本とタラワの時差は+3時間である（日本が正午の時、タラワでは午後3時）。日本とクリスマス島の時差は+5時間（日本が正午の時、クリスマス島では午後5時）。なお、ハワイのホノルルとクリスマス島は時刻は同じだが、クリスマス島が日付変更線を越えることになるため、ホノルルよりクリスマス島の方が1日進んでいることになる（つまり時差は1日）。

1994年までは日付変更線が国を2分していたが、国内で日付が異なるために起きる行政上の不便をなくすために、1995年1月1日に日付変更線を東側の国境沿いに移動させた。

そのため世界で最も早く朝日が昇る島となったカロリン島はミレニアムと新世紀の年越しを記念して、ミレニアム島に改名された。このことが2000年のミレニアムを

目前にして世界的に注目を集め、ミレニアム島の名前は一躍有名になった。



ミレニアム島

ホテル

タラワとクリスマス島にはホテルがいくつかあるが、高級ホテルとされるホテルであっても日本のそれとは違うことをあらかじめ理解しておきたい。ギルバート諸島やその他の島では、ホームステイや公営の宿泊施設がほとんどである。全ての宿泊施設には宿泊料金の10%の税金がかかる。

チップ

特に必要ない。

両替とクレジットカード

キリバスの通貨はオーストラリア・ドル。ただし、クリスマス島の一部では米ドルも使用できる(オーストラリア・ドルよりレートは悪い)。出国前に両替を済ませておくことが望ましい。レートは悪いが現地のキリバス銀行(Bank of Kiribati)およびオーストラリア・ニュージーランド銀行(ANZ Bank)でも両替は可能。両方の銀行は、タラワのベシオ、バイリキ、ベケニベウ、

およびクリスマス島のロンドンにある。営業時間は、月曜日から金曜日の8時15分～15時まで。ATMもあるが常に稼働しているわけではない。

クレジットカードは利用できる場所が限られており、オシントイ・ホテル(22ページ参照)、トヨタレンタカー(17ページ参照)、タラワにあるトバラオイ旅行代理店(Tobaraoi Travel Agency 18ページ参照)でのみ利用可能。

国際電話

キリバスの国番号は686。通信業務はTelecom Services Kiribati Limited(TSKL)によって運営されている。国際電話はタラワとクリスマス島でのみ可能である。その他の地域では使用することができない(無線電話のみ)。国際電話料金は非常に高く、オーストラリアへの1分間の料金は約230円。

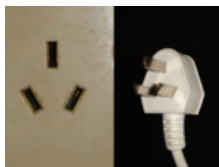
携帯電話

国際ローミングサービスの対象外地域であり、日本の携帯電話を使用することが出来ない。キリバスの携帯電話サービスは2005年に開始されたばかりであり、現在は南タラワ地域でのみ利用可能。SIMカードをTSKLにて購入することが出来る。

電気

電気は240ボルト、50ヘルツであり、プラグはO型(オセアニア型)である。ク

クリスマス島の一部ではA型（アメリカ型）のプラグを使用しているところもある。



O型プラグ

ビジネスアワー

官公庁：8時30分～16時15分（月～金）

郵便局：9時～15時（月～金）

電話局：8時30分～17時15分（月～金）

一般の商店：7時～19時頃

（20時30分頃まで開いている店もある）（月～土）

祝祭日

1月 1日 新年

3月 9日 女性の日

4月初～中旬

イースター（3日間）

4月20日 健康の日

7月12日～13日

独立記念日

7月14日 成人の日

7月15日 ゴスペル・デー

7月17日 婦人の日

8月 7日 青年の日

12月10日 人権の日

12月25日 クリスマス

12月26日 ボクシング・デー

（注）年によって前後することがある。

服装と持参したいもの

●服装はカジュアル

1年をたづじてTシャツにズボンといった格好が最適である。フォーマルな場でも襟付きシャツに長ズボンで問題ない。ただし、女性の場合は太ももを露出させない服装をするのがマナーである。地元の人は半袖シャツにラバラバ（テ・ペー）と呼ばれる腰巻きやズボンを穿いているのが一般的。

●サンダル

靴以外にサンダルを持っていくと、ちょっとした町歩きやビーチに行くときも便利である。

●懐中電灯

停電が起こることもあるので、懐中電灯があれば便利。

●医薬品と化粧品

現地で購入できるものは非常に限られているので、日頃使用している医薬品や化粧品、コンタクトレンズ液などは日本から持参すること。

●日焼けに対する対策

キリバスの日差しの強さは想像を超えている。必ず自分にあった日焼け止め（高SPFのものが望ましい）を持参し、こまめに塗り直すこと。また帽子やサングラスを持参し、直射日光を避ける対策を行うのが望ましい。

健康を守るために

旅行に出かけると、どうしても長時間のフライトによる疲れや、暑さや飲み過ぎ、

食べ過ぎで知らない間に身体の調子を崩しやすくなる。自分の身体の調子に合わせ、旅行のスケジュールは無理をせず、余裕のあるものにしたい。キリバスでは消化器系の感染症は少なく、アジア地域やアフリカ地域のように、特に注意が必要なことはないが、病気を予防する上で下記のことを注意したい。

(1) 注意したい食べ物

生水

キリバスの水道水は雨水を溜めて使用している。そのため、病原菌に汚染されることがあり、石灰分も多いため、硬質の水に慣れていない日本人は下痢をする人が多い。胃腸の弱い人などは煮沸して飲むようにする必要がある。また、水道は時間給水となっており、常時使える訳ではない（ホテルなどは自家水槽を使用しているところもある）。ミネラルウォーターは一般に販売されておらず、ホテルの売店などを除いては、入手が難しいのでホテル内で調達する（1.5ℓで160円前後）。

食品

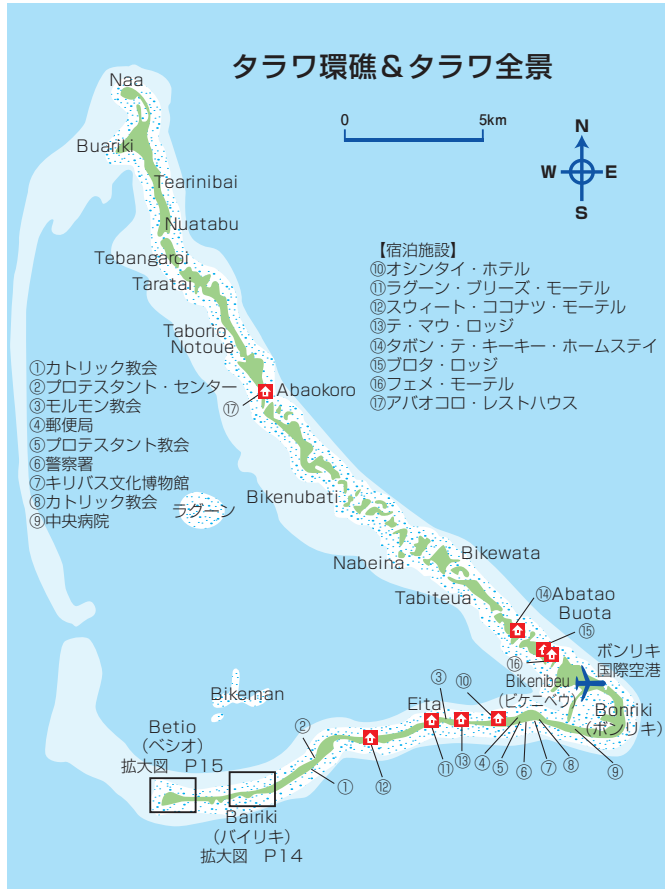
高温・多湿の気候のため食品が傷みやすい環境なので、不衛生な取り扱いをしているレストラン・屋台などでの飲食は避ける。

(2) その他の病気

キリバスは、日中に活動するネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介される Dengue 熱の流行地域にあたる。Dengue 熱は、ウイルス性の感染症で、主症状は持続する 38～40℃の発熱や眼窩痛、頭痛、筋肉痛や関節痛など。発症後 3～4 日後より胸部から非特異性の発疹が出現し、四肢、顔面へ広がる。四肢にかゆみを伴うことが多い。放置しても 1 週間程度で自然と治癒する。しかし、まれに Dengue 出血熱と言われる出血を伴う重症疾患が現れることがある。蚊によって媒介される寄生虫疾患もあり、蚊には注意し、市販の虫除けスプレーなどを持参することが望ましい。蚊はホテルの室内にも潜んでいることがあるので、電池式蚊取り機を持参するのも有効な対策になる。

首都タラワ

タラワ環礁はアルファベットのLを逆にした形をしている。環礁の南側のベシオから空港のあるボンリキまでの部分が南タラワと呼ばれ、官公庁や銀行などはこの地域に集中しており、キリバスの政治・経済の中心地となっている。タラワの首都としての機能は主にこの南タラワの3つに分けられる地区により担われており、南タラワ西端のベシオは港湾地区、バイリキは官庁街、空港に近いビケニベウは文教地区となっている。環礁の北の部分は北タラワと呼ばれ、整備された道路も完備されておらず、南タラワと違い未だに昔ながらの雰囲気を残している地域である。



●タラワへの行き方

(国際線)

フィジーのナンディよりエア・パシフィック航空を利用する。日本とフィジーの間に直行便はない(2009年現在)ので、ソウル経由などでフィジーに行くこ

とになる。ナンディ〜タラワ間の飛行時間は約3時間で週2便運航している。料金は約1,500オーストラリア・ドル前後(2009年10月)。ただし、フライトスケジュールは頻繁に変更されるので注意が必要。空港はボンリキ国際空港(Bonriki

International Airport) で、空港から中心地のバイリキまでは車で約1時間、オシントай・ホテル(22ページ)までは約15分。

キリバスに限らず、太平洋諸島間の航空路線は不安定で、飛行機の時間も時刻表通りにいかないことが多い。旅行計画を立てる際は、詳しい情報収集を行った上で、大

らかな気持ちで飛行機の到着や出発を待ちたい。

なお、極めて不定期ではあるが、フィジーとツバルからの船便がある。運航はKiribati Shipping Service((686) 26195、kssl@tskl.net.ki) という会社が行っている。

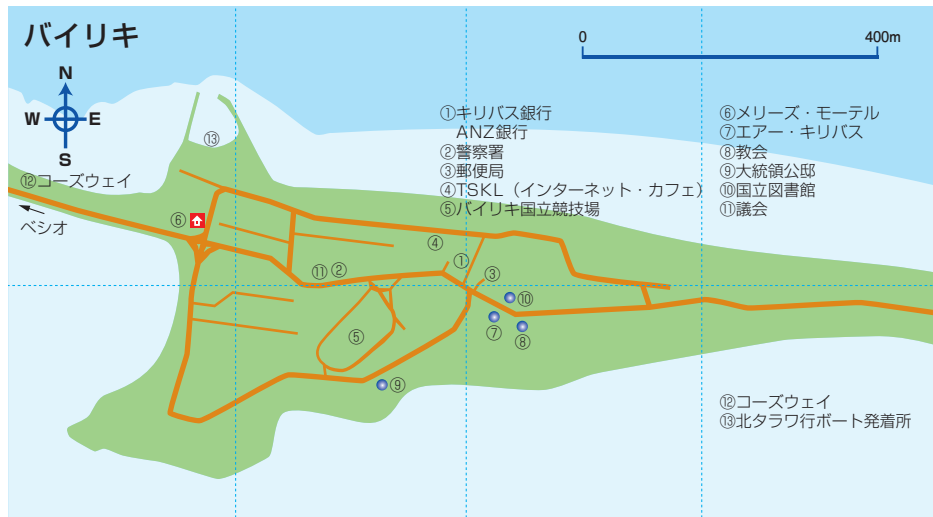


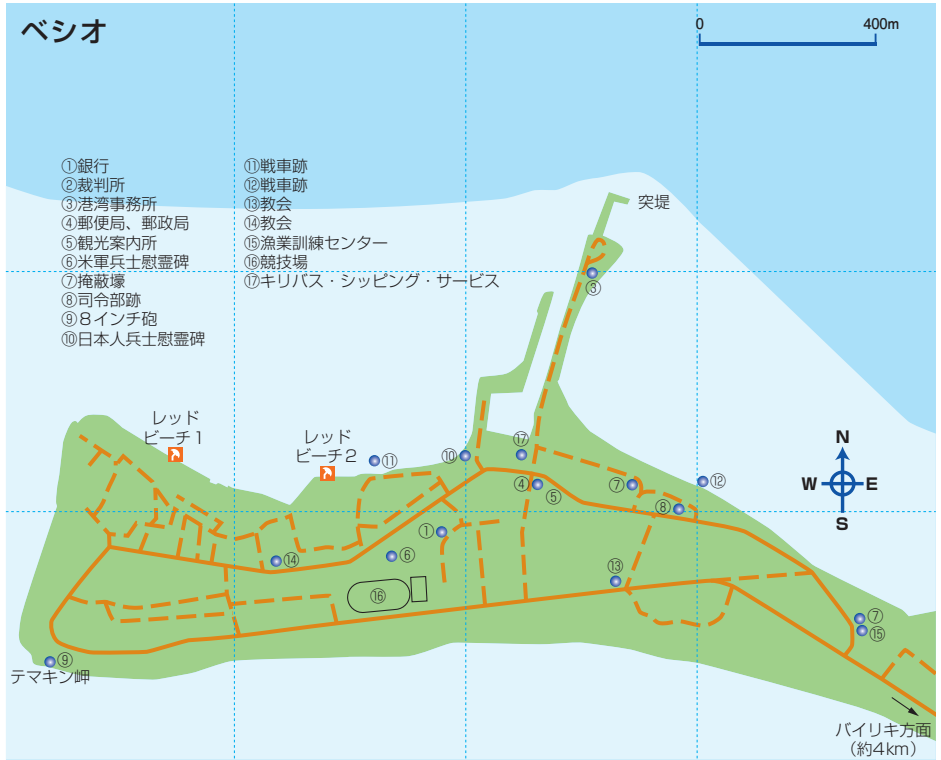
ボンリキ国際空港



エアー・パシフィック機

●主な中心都市図





●政府観光局

政府観光局 (Kiribati National Tourism Office) はベシオにある。

(連絡先)

Kiribati National Tourism Office
Ministry of Communication, Transport
& Tourism Development
P.O. Box 487, Betio, Tarawa
Tel : (686) 263, Fax : (686) 26193
<http://www.visit-kiribati.com/>
E-mail : sto@mict.gov.ki
atomp@mict.gov.ki
tdo@mict.gov.ki

●銀行

キリバス銀行 (Bank of Kiribati) およびオーストラリア・ニュージーランド銀行 (ANZ Bank) がある。タラワのベシオ、バイリキ、ベケニベウにある。

●郵便局・切手

中央郵便局はバイリキにある。支所はベシオ、ビケニベウ、クリスマス島にある。営業時間は9時から15時、月～金。
中央郵便局 : (686) 21080
ベシオ郵便局 : (686) 26502
ビケニベウ郵便局 : (686) 28078

キリバスはユニークな記念切手を数多く発行している。ベシオにあるキリバス郵政局 (Philatelic Bureau) もしくは各郵便局にて購入できる。

キリバス郵政局 Kiribati Philatelic Bureau
MICT, Betio, Tarawa, Kiribati

Tel : (686) 26515, Fax : (686) 26193



キリバスの記念切手

●国際電話／インターネット

タラワの大きなホテルでは部屋から国際電話が使用可能。

キリバスの通信業務を一手に行うTSKL (Telecom Services Kiribati Limited) の本部 (33ページ) に事務所、インターネットカフェがある。



Tel : 686-20704, 20702

料金 : 0.9オーストラリア・ドル(30分)

1.8オーストラリア・ドル(1時間)



営業時間 : 8 : 00 ~ 17 : 15 (月 ~ 金)
8 : 00 ~ 13 : 00 (土)

●医療サービス

空港近くにトゥンガル中央病院 (Central Hospital) がある。薬局はほとんどない。

●公共交通機関



中央病院

南タラワの移動に便利なのが、乗り合いバスである。料金は1~2オーストラリア・ドル程度であり、頻繁に空港の北のブオタからベシオまでの間を往復している。バスと言ってもいわゆるライトバンであり、「BUS」と表示してある場合もあるが、そうでない場合も多い。だが、頻繁に地元の人乗り降りしているし、手を挙げればどこでも止まってくれるので、乗り方がわからずに困ることはない。降りたいときも、好きなところで運転手に降りたい (キリバ

ス語でイカイ (ikai) という) と伝えれば止まってくれる。終バスはだいたい午後9時前後。タクシーはない。



●レンタカー

トヨタレンタカー (タラワ・モーターズ) があり、ホテルにて手配が可能。セダンタイプで1日60~80オーストラリア・ドル程度。事前に予約してあれば、依頼すれば空港まで配車してくれる。空港から市街地までの道は一本しかないので迷う心配はないが、道路には歩行者と急停車する乗合バスが多く、夜は街頭がほとんどなく真っ暗なので、運転には注意が必要。車のハンドルは原則左ハンドル。メリーズ・モーターでも取扱っている。



トヨタレンタカー (タラワ・モーターズ)
住所 : BAIRIKI, TARAWA P.O. BOX 36
Tel : (686) 21090, 21040, 21041
Fax : (686) 21451
ホームページ : <http://www.tarawamotors.ki/>

アクティビティ

●マリンスポーツ

タラワとクリスマス島では、シュノーケリング、ボートフィッシングを楽しむことができる。本格的なスキューバダイビングはクリスマス島でしか行うことが出来ない (31ページ)。



キリバスの海は透明度が高く、比較的波も小さいので、海水浴に向いている。宿泊しているホテルにどのあたりで海水浴をすればいいか尋ねれば、必ず良い場所を教えてください。

南タラワの中で海水浴が楽しめるのは、コーズウェイ (20ページ) のほりやアンボ・ラグーン・クラブ (20ページ)。北タラワにはまだ手付かずの美しい海が広がっている。南タラワに宿泊している場合は、定期船を使って渡るよりも、ボートを

1日借上げて案内してもらおう方が便利。

● ツアーオペレーター

モリーズ・ツアー Molly's Tour

Tel/Fax : (686) 26409

E-mail : jaybe@tskl.net.ki

タラワのツアーオペレーター。特に戦跡ツアーのアレンジに強く、北タラワのピレッジ・ツアーやボートの手配、またキリバスダンスのアレンジや離島ツアーの手配も可能。



オシнтаイ・ツアーズ Otintaai Tours

オシнтаイ・ホテル (22ページ) 内にあるツアーオペレーター。南タラワの観光案内、サイクリング、カヌーセーリング、北タラワでの各種手配(現地の村案内、シュノーケリング、ビーチバレー用具貸し出しなど)を行っている。

Tel : (686) 28084 (ホテル内からは内線141)

E-mail : otintaai2@tskl.net.ki

ベシオ・ゲーム・フィッシング・クラブ

Betio Game Fishing Club

オーストラリア・ハイコミッション内 (Mr.

Steve Hendry)

Tel : (686) 21184

ホームページ : <http://www.fishos.com>.

● スピードボート・ジェットスキーのチャーター

Mr. Joe Teanako

Tel/Fax : (686) 21472、携帯 : (686) 940
もしくはメリーズ・モテル (22ページ) のMr. Inatio Teanako まで。

Tel : (686) 21164

Fax : (686) 21362

● 遊覧飛行・離島へのチャーター

エア・キリバス Air Kiribati

Tel : (686) 21550, 22485, 21188, 28165

Fax : (686) 21549

トバラオイ・トラベル Tobaraoi Travel

P.O. Box 212 Bikenibeu, Tarawa

Tel : (686) 26567

Fax : (686) 260

E-mail : tarawa@tobaraoi.com

<http://www.tobaraoi.com>

(注) ベシオ (ANZ銀行の上)、ベケニベウ (オシнтаイ・ホテル近く)、クリスマス島 (ロンドン) に支店がある。

パシフィック・トラベル・エージェンシー
Pacific Travel Agency

Bikenibeu, Tarawa, Republic of Kiribati

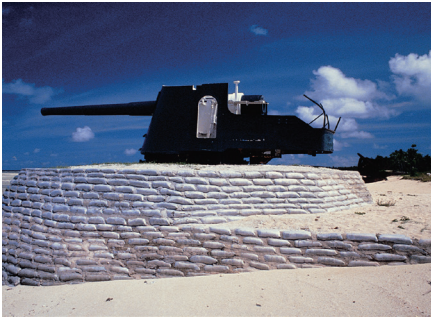
Tel : (686) 28834

Fax : (686) 28118

観光スポット

ベシオの戦跡

War Relics



太平洋戦争中の激戦地として知られるタラワの戦場の中心となったのがベシオである。1943年11月、旧日本軍約4600名は、2万名の米軍を迎え撃ち（タラワの戦い）、3日間の激戦の末、最後には玉砕に至るといふ悲劇の運命をたどった。ベシオの西端と東端（コースウェイの手前）には、旧日本軍の砲台やトーチカが現在も残されている。島の北東部には旧日本軍の司令部の建物が昔の姿を留めている。港の近くには日本人慰霊碑や観音像も建てられている。下記の旅行代理店でツアーの予約が可能。

トバラオイ・トラベル Tobaraoi Travel
(18ページ)

モーリー・ツアーズ Molly's Tours
(18ページ)



アンボ・ラグーン・クラブ

Ambo Lagoon Club

南タラワの美しい浜辺に位置するアンボ・ラグーン・クラブは、かつて英国の植民地時代のゴルフコースだったが、現在は整備された海水浴場となり、干潮時を除いて常に海水浴が可能。会員制だが、一時会員として10オーストラリア・ドル支払えば入場が可能。伝統的なマネアバが設置され、太陽のまぶしさに疲れたらここで日よげができる。また簡単なバーも併設されており飲み物などを購入することができる。



コースウェイ

Causeway

ベシオとバイリキを結ぶ約3.5キロの埋め立て道路。1987年に日本の援助で造

られた。コースウェイの上からはすばらしく青色をしたラグーンを一望できる。ラグーンの内側の緑がかった青色と外海の深い藍色、そして澄みきった空の青色のコントラストは心が震えるほど感動的。海に沈む夕日の景色も絶景だ。ちなみにこのコースウェイを現地の人たちは“ニッポン・コースウェイ”と呼んでいる。近年の地球温暖化によって海面が上昇し、場所によっては崩壊が進んでいる。



キリバス文化博物館

Kiribati Cultural Museum (Umwaniwong Cultural Centre)

ビケニベウにある国立博物館で、展示品は少ないながらもキリバスの文化や歴史を学ぶことができる。開館時間は8時から

16時15分（12時半～13時半までは閉館）、月曜日から金曜日まで。詳細は文化部Tel：(686) 28283、Fax：(686) 28334まで問合せのこと。

市場

Market

官庁や銀行、郵便局、図書館等が集中しているバイリキ中心部の広場の南側、ショッピングアーケードの裏手に市場がある。生鮮品・食料や衣服、生活雑貨等が売られており、地元の生活が垣間見える楽しい空間である。



市場の女性

バイリキ国立競技場

Bairiki National Stadium

バイリキにある国内随一のスタジアム。休日にはスポーツを楽しむ人やサッカーの試合などに使われているほか、7月12日



の独立記念日にはこのスタジアムでさまざまな行事が行われる。

ハンディクラフト（工芸品）ショップ

Handicraft Shops

バイリキを中心にキリバスの工芸品を売る店が4～5件ある。パンダナスで作ったバッグやバスケット団扇やマット、貝のネックレスなどさまざまなハンディクラフトが販売されている。

タラワにある主なハンディクラフト・ショップ

- イレケンラオ・ハンディクラフト・ショップ
Irekenrao Handicraft Shop
Bikenibeu, at Kiribati Holidays Building, Tel：(686) 28090
- イトニガイナ・ハンディクラフト・センター
Itoingaina Handicraft Centre
Teaoraereke, Tel：(686) 21038
- RAK ハンディクラフト・センター
RAK Handicraft Centre
Tangintebu, Tel：(686) 21132
- AMAK ハンディクラフト・センター
AMAK Handicraft Centre



Bikenibeu, Tel : (686) 28517

◦ キリバス・ハンディクラフト&ローカルプロデュース

Kiribati Handicraft and Local Produce

Bairiki, Tel : (686) 22193

Tel : (686) 28084, Fax : (686) 28045

E-mail :

otintaaai2@tskl.net.kiotintaaai@tskl.net.ki

ホームページ

<http://www.otintaaihotel.com/>

南タラワの主なホテル

オシнтаイ・ホテル

Otintaaai Hotel



キリバスで最大のホテル。ラグーンに面してレストラン、バーも併設されており、そこから素晴らしい景色も楽しむことができる。最大200名まで収容できる会議室も備えている。クレジットカード（Visa、Master）が使用可能。

地域 ベケニベウ（南タラワ）

部屋数 40

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

東棟：シングル \$75 ダブル \$88

トリプル \$95

西棟：シングル \$80 ダブル \$90

トリプル \$105

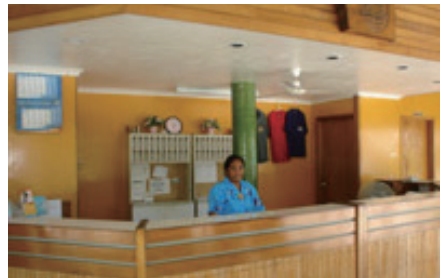
（注）バス・トイレ・エアコン・朝食付き

コンタクト先

GPO Box 270 Bikenibeu,
Tarawa Republic of Kiribati

主なサービス

空港送迎、レンタカー手配、各種オプションルツアー手配、国際電話・インターネット、ルームサービス、バーベキュー、ピクニック、伝統舞踊公演のアレンジ（事前手配に限る）



メリーズ・モーター

Mary's Motel

コーズウェイ（20ページ）のたもとに位置し、全12室。いわゆるホテルという



よりはゲストハウスに近い。新館はエアコン、シャワー、トイレ付き。官庁街や商業地に近いため、ビジネス客の宿泊も多い。併設のレストランはタラワでも評判が良く、中華料理や日本料理もメニューにある。バーは旅行客のたまり場となっている。

地 域 バイリキ (南タラワ)

部屋数 16

料 金 (1泊・オーストラリア・ドル)

旧館：シングル \$55 ダブル \$77

新館：シングル \$77 ダブル \$85

※10%のサービス税が別途かかる。朝食付き。

コンタクト先

P.O. Box 12, Bairiki Tarawa,

Republic of Kiribati

Tel : (686) 21362もしくは22227

Fax : (686) 21362



主なサービス

レンタカー手配、ジェットスキー、フィッシング

ラグーン・ブリーズ・モーター

Lagoon Breeze Motel



静かなラグーンに面した落ち着いた雰囲気ゲストハウス。ダブルルームが8室、シングルルームが3室あり、それぞれにキッチンとエアコンを備えている。キッチンにはコーヒーマーカーや電子レンジが置かれており、自炊が可能。食事のサービスはない。

地 域 アバラオ (南タラワ)

部屋数 11

料 金 (1泊・オーストラリア・ドル)

シングル \$50 ダブル \$60

トリプル \$75

コンタクト先

Mr. Roniiti Teiwaki

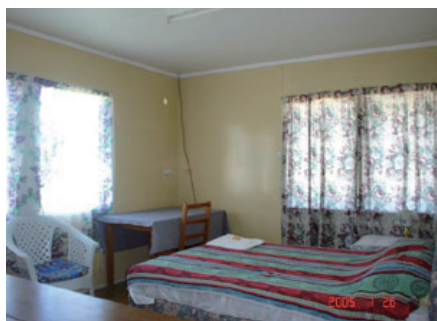
Tel : (686) 28942, Fax : (686) 28941

E-mail : lagoonbreeze@tskl.net.ki

lagoonbreezelodge@yahoo.com

主なサービス

空港送迎、レンタカー手配、ツアー予約、



キリバス語レッスン、国際電話・インターネット、ランドリー・サービス

テ・マエウ・ロッジ

Te Maeu Lodge

地域 テブニア（エイタ）

部屋数 6

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル（エアコン付） \$50

ダブル（エアコン付） \$60

エアコンなしの部屋 \$35

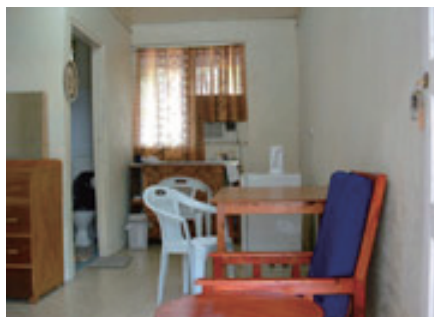
コンタクト先

Dr. Airam Metai.

Tel : (686) 28501/28493

Fax : (686) 28501

E-mail : airam_metai@tskl.net.ki



北タラワ

North Tarawa

美しい海と俗化されていない昔ながらの生活が残る北タラワは、南タラワとはまた別の表情を見せてくれる。キリバスの自然そのものを満喫できる場所としては最適だ。点在する小島は、干潮時には歩いて互いを行き来することができる場所もある。島の中の集落を訪れ、そこに住む人々の暮らしにふれることもできる。（ただ、村の人々が普通に暮らしているところに入っていくことになるので、許可なく写真を撮ったりせず、礼儀を持って接しよう。）島によっては入島料がかかるので注意する（2～5オーストラリア・ドル程度）。

南タラワからのアクセス

メリーズ・モーター（22ページ）の裏にある栈橋から、毎日だいたい午後3時ご

ろに北タラワ行きのボートが出ている。料金は片道3オーストラリア・ドル。ボートをチャーターした場合の料金の目安は約120オーストラリア・ドル（往復）。



北タラワの主なホテル

タブン・テ・キーキー・ホームステイ

Tabon Te Keekee Homestay



アバタオの海の上に建てたキリバスの伝統家屋の宿泊施設。伝統的なキリバスの生活を体験するのに適している。南タラワからカヌーでしか行けないので、必ず送迎サービスを利用すること。

地域 アバタオ

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$45 ダブル \$55

共に朝食込み

コンタクト先

Tel : (686) 28715, Fax : (686) 28258

E-mail :

reservations@kiribatiholidays.com

karea@kiribatiholidays.com

ホームページ :

www.tobaraoi.com

主なサービス

空港送迎

ブオタ・ロッジ

Buota Lodge

地域 ブオタ

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル・ダブル 共に \$50

コンタクト先

Mrs. Aketa Scarlet

Buota Lodge, Buota

Tel : (686) 28906, Fax : (686) 28233

フェメ・モーテル

Feme Motel

地域 ブオタ

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

シングル \$60 ダブル \$70

コンタクト先

Mr. Fatali Telolomi

P.O. Box 84, Bairiki Tarawa

Tel/Fax : (686) 21039

E-mail : tsvideo@tskl.net.ki

アバオココ・ゲストハウス

Abaokoro Guesthouse

北タラワの中間に位置する、アバオココ村が経営するレストハウス。コンクリートで出来た小さな部屋で風呂は共同。自家発電のため、時々停電することもあるが、飾らないキリバスを楽しめる人に泊まってもらいたいレストハウス。

地域 アバオココ

部屋数 4

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

\$30 (食事付き)

コンタクト先

Tel : (686) 31012

タラワの主なレストラン

オシнтаイ・ホテル・レストラン

Otintaai Hotel Restaurant



オシнтаイ・ホテル併設のレストラン。

キリバス最大のホテルのレストランとあって、料理の室もレストランの設備もしっかりしている。そのため、料理の値段もそれ相応である。週末はディスコも開かれる。

メリーズ・モーテル・レストラン

Mary's Motel Restaurant



メリーズ・モーテル併設のレストラン。一品10~20オーストラリア・ドル程度。ホテル併設のため外国人が多い。

ボンズ・レストラン

Bong's Restaurant



中国料理店。バイリキより車で東へ10分程度行ったところにある。一品6~7オーストラリア・ドル程度。

その他の島々

タラワを離れ、外洋の島々に行くと、そこは西洋文明から離れた穏やかな景色が流れている。車も少なく電話もなく（無線電話のみ）、人々は魚とココナツなどを中心としたシンプルな食生活をし、たまにコプラを売って現金を稼ぐ。人々は多くものを持ってはいないが、皆で支え合っで本当の意味で豊かな生活を送っている。なかなか行く機会の少ない外洋の島々だが、行くと必ず心の洗われる体験と美しい自然に出会えることだろう。



島々への行き方

エアー・キリバスがギルバート諸島各地に国内線を運航している。フェニックス諸島・ライン諸島には運航していない。

エアー・キリバス Air Kiribati
P.O. Box 274, Bikenibeu, Tarawa,
Republic of Kiribati.

Tel : (686) 28088/28165

Fax : (686) 28216

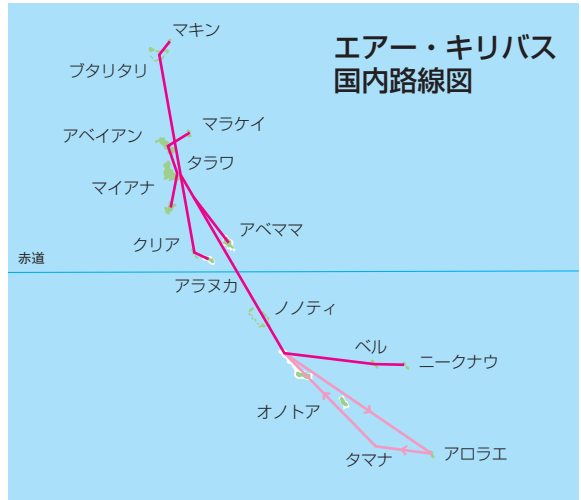
E-mail : airkiribati.admin@tskl.net.ki

<http://www.kiritours.com/>

(タラワからの国内便) (21年9月現在)

行き先	週の便数	片道料金
アバイアン	3	30
アベママ	4	45
アラヌカ	3	50
アロアエ	1	155
ベル	1	120
ブタリタリ	3	65
クリア	3	50
マイアナ	2	30
マキン	2	70
マラケイ	3	35
ノノウス	2	80
オノトア	1	120
北タビテウエア	5	95
南タビテウエア	1	105

(単位：オーストラリア・ドル)



コーラル・サン Coral San Airways

Tel : (686) 29517、

Reservation (686) 29539

<http://www.coralsunairways.com>

船を使って各地を回ることもできるが、スケジュールが不定期なので、事前に情報収集を行い、余裕のあるスケジュールを組むこと。下記2社で運行サービスを行っている。

スーパーキャット Supercat

Tel : (686) 22538

ベシオにある、ボートのチャーター会社。チャーターしたボートで好みの場所へ行くことができるが、ボートの数が限られているため、事前の予約と万が一のため代替案も準備しておくこと。

キリバス・ SHIPPING・サービス

Kitibati Shipping Services Ltd.

P.O. Box 495, Betio, Tarawa,
Republic of Kiribati

Tel : (686) 26195

Fax : (686) 26204

E-mail : kssl@tskl.net.ki

料金の目安は、タラワ～アバイアン間が7オーストラリア・ドル、タラワ～マイアナ間が15オーストラリア・ドル、タラワ～アベママ間が33オーストラリア・ドル。スケジュールは現地

で確認しないと分からない。



ギルバート諸島の島々

ギルバート諸島には、タラワのほかにも魅力ある島が多く存在する。その中でも比較的訪れやすい2島をここでは紹介する。なお、これらの島に行く場合、飛行機等の手段は非常に限られており、またフライトスケジュールも予告なく頻繁に変更になることが多いので、充分余裕を持って予定を組み、タラワで情報収集をしてから訪れるとよいだろう。宿泊施設はあるが、タラワのようにしっかりしたホテルではないため、訪



問前に観光局（15ページ）や、ツアーオペレーター（18ページ）に相談するのがよい。

ブタリタリ

Butaritari

旧称マキン。太平洋戦争前まではギルバート・エリス諸島の中心地であり、日本の貿易会社も支店を置いていた。タラワ・マキンの戦いの舞台となった激戦地でもあり、日本との関係が深い島である。降水量が多いことで知られ、緑が多く比較的豊かな土地と言われる。島の近海には海の中に沈む旧日本軍の飛行機の残骸が今でも残っている。タラワからは飛行機で約45分。

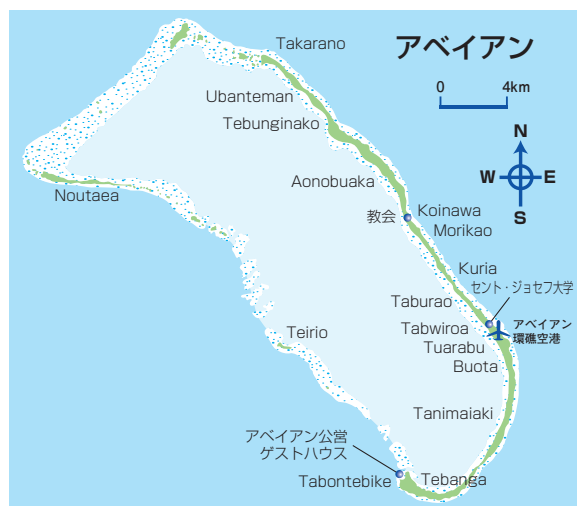
アベイアン

Abaiang

タラワの北に位置し、ボートで約4時間、飛行機で約15分と、ギルバート諸島

の中では比較的タラワからアクセスしやすい島である。広さは17.5km²で人口は約5700人。ラグーンの美しさで知られるこの島は、シュノーケリングをするには最適である。また、島には昔ながらのキリバスが残っており、その雰囲気をも十分に感じることができる。アベイアンには名門セント・ジョセフ大学があり、大学の卒業生の中には、キリバスのアノテ・トン大統領やテプロロ・ティート前大統領も卒業生である。環礁への交通は、アベイアン島のタブウィロア村とツアラブ村に間にあるアベイアン環礁空港を利用する。キリバス航空は、アベイアンとマラケイ、及び北タラワのボンリキ国際空港を結んでいる。

アベイアン島には2つのゲストハウスがある。タボンテビケ村には、村議会が所有の“アベイアン公営ゲストハウス”があり、島西北部の太平洋海岸にあるオウバ島には



アベイアンの海

オウバ島リゾートがある。オウバ島リゾートはエコツーリズムを目指して造られたリゾートであり、2006年7月より営業している。



アベイアンの子供たち

ギルバート諸島のホテル

パール・シェル・ハイドアウェイ

Pearl Shell Hideaway

地域 ブタリタリ（ギルバート諸島）

部屋数 3（最大8名まで）

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

\$33（トイレ、3食付き）

コンタクト先

Mrs. Tematoro Peter on

Tel：(686) 21185または21597

アベイアン公営ゲストハウス

Abaiang Island Council Guest House

地域 オウバ島（アベイアン）

部屋数 3

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

予約時に確認のこと（トイレ、食事付き）

コンタクト先

Council Clerk

Taburao Village

Tel：(686) 33202

主なサービス

空港送迎（予約時に必ず依頼すること）、

現地漁民といかだに乗っての漁体験、

ボート、トラック、オートバイのレンタル

オウバ島リゾート

Ouba Islet Resort

地域 オウバ島（アベイアン）

部屋数

料金（1泊・オーストラリア・ドル）

予約時に確認のこと（トイレ・シャワー付き）

コンタクト先

P.O. Box 454, Betio, Tarawa

Tel：(686) 26136

Fax：(686) 26332

E-mail：enquiry@kiribatihorizons.com.au

ホームページ：www.kiribatihorizons.com

主なサービス

空港送迎、ビール、ソフトドリンク等の

販売、各種フィッシングの手配



クリスマス (キリシマシ) 島

クリスマス島は珊瑚礁によって構成されており、面積は388km²、珊瑚でできた島としては世界最大級である。名前の由来はイギリスのジェームス・クックが1777年のクリスマスの日この島に到達した事による。別名「キリシマシ島」と呼ばれることもあるが、これはクリスマスのキリバス語読みである。サンゴが侵食されたくぼ地に海水が入り込んだ、数百の塩湖があるクリスマス島は、フィッシングのメッカとして知ら



れ、またダイナミックなダイビングも楽しめるマリナクティビティの天国。ホノルルから約3時間のフライトで、想像を超えた空と海の色そして手付かずのまま残された自然を、心いっぱい味わうことができる。クリスマス島は、現代社会から離れ、地球のあるべき姿を自らの目で確かめ体験することができる、とても貴重な場所である。もともと無人島であったが、近年タラワから徐々に人々が移住し、現在クリスマス島の人口は約34人で、主に観賞用の熱帯魚や海塩などの輸出で生計を立てている。地名にロンドン (キリバス語でRontonと言う) パリなど欧米の名前やバナナ (Banana) などの作物名が地名として付いているが、これはかつて英国などが農地開発を試みた歴史の名残である。

また日本の宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が、ダウンレンジ局 (ロケットの追尾、飛行中のデータ取得を行う際に、射点から見えなくなった以降の追尾/データ取得の為に設置されている地上局のこと) をクリスマス島に設置している。またスペースシャトルの離発着実験もクリスマス島南部のイーオン飛行場で行われており、日本との関係が深い島である。



クリスマス島上空

アクセス

パッケージツアーで行く場合が大半だが、自己手配の場合、ホノルル（ハワイ）発クリスマス島行きチャーター便にて渡航する。フライト料金は往復約1,100オーストラリア・ドル（エコノミークラス、燃油チャージ、税別）程度で飛行時間は約6時間。プロペラ機のため、一人当たりの荷物制限は20kgまでとなっている。

この路線への予約・問い合わせ先（対応は英語のみ）は、在ホノルル共和国名誉総領事館に問合せのこと。

在ホノルルキリバス共和国名誉総領事館
Honorary Consulate of the Republic
of Kiribati.

95 Nakolo Place, Room #265 Honolulu
Hawaii 96819

Tel : (1808) 834 6775

Fax : (1808) 834 7604

E-mail : kiribaticonsul@aol.com

●空港からのアクセス

空港からホテルまでは、通常パッケージツアーで訪問するケースがほとんどであり、空港送迎が料金に含まれている。フリーで宿泊する場合も、ほとんどの宿泊施設で、依頼しておけば送迎サービスを行ってくれる。空港からキャプテンクック・ホテルまで約10分、島の中心のロンドンまで約40分である。

●公共交通機関

ロンドンとバナナ間をミニバスが走っている。料金は1.2オーストラリア・ドルで運行時間はだいたい午前7時から午後9時ごろまで。

●レンタカー

専門のレンタカー会社はないので、ホテルに手配するか、キャプテンクック・ホテルの正面にあるJMBエンタープライズ、もしくはロンドンにあるドージン・ストア（Dojin Store）にて手配できる。料金は1日約65～80オーストラリア・ドル程度。道路の舗装状況は良くないので運転時には気をつけたい。

●政府観光局

商工観光省のクリスマス支庁が観光の担当となっているが、いわゆる観光局といった施設ではない。また、主要ホテル等でも色々と観光情報を入手することができる。
Ministry of Commerce, Industry and
Tourism, Kiribati Island

Tel : (686) 81198

Fax : (686) 81316

●両替

キリバス銀行がロンドンに支店を出している。平日の午前9時～午後3時まで営業している。なお、ホテルでは米ドルが使用できるところもある（但しレートは良くない）。



●クレジットカード

ほとんど使用できない。主要ホテルでも現金しか受け付けないので、十分な額の現地通貨を用意する必要がある。

●郵便局

中心地ロンドンにオフィスがある。

●国際電話／インターネット

ロンドンのTSKL(Telecom Service Kiribati Ltd.)にて遠距離、国際電話が可能。ホテルの電話は繋がらないことがたまにあるので注意。インターネットの利用もTSKLにて可能。



●メディア

FM局 (Radio Kiritimati) が1局ある。

●医療サービス

ロンドンに病院があるが、決して十分な施設ではない。大きな病気、怪我の場合にはホノルルへの移送が必要となるので、くれぐれも病気や怪我には気をつけたい。

クリスマス島のアクティビティ

●フィッシング

クリスマス島は世界中の太公望たちの憧れの地。この地を訪れる観光客のほとんどはフィッシング客であることから、クリスマス島でのフィッシングの魅力は想像できるだろう。クリスマス島といえばボーンフィッシングといわれるように、浅瀬で、獲物を目で捉えてフライをキャストし、ボーンフィッシュを狙うサイトフィッシングが人気である。ボーンフィッシュの他にトレバリーなども釣れる。また、外洋に出たのトローリングも魅力的だ。ロウニンアジやキハダマグロ、カジキマグロなどの大物が多く釣れる。



フライフィッシングも楽しめる

●ダイビング／シュノーケリング

クリスマス島はダイビングスポットとしての魅力もすばらしい。島の内側はラグーンと呼ばれる浅い内湾になっており、クリスマス島の固有種であるフレームエンゼルフィッシュはじめ数種類のエンゼルフィッシュを見ることが出来る。湾口はギンガメアジやバラクーダ、マンタなど様々な回遊魚が巡り、島の周辺には、回遊魚に加え、サメも多く生息しており、ダイナミックなダイビングが楽しめる。ボートの移動中には海鳥が近づいてきたり、遠くにはイルカの群れを見ることがもある。特に浅瀬のラグーンにはマンタや海亀が集まることもあり、シュノーケリングでも見ることが出来る主なスポットとしては、以下の3つなどがある。

- ①ロンドンとパリの間の海峡。(クック諸島周辺。アンカリング。)
- ②ポーランド沖(クリスマス島南西端のポーランド沖。リーフ沿いをドリフト。水深約30メートルでのケーブダイブが楽しめ、マンタやナポレオンなど見られる魚もさまざま。)
- ③ベイ・オブ・レック(クリスマス島北東部の海岸。ビーチエントリー。荒波の中をかいぐって海に入る。)

クリスマス島のダイブショップである Dive Kiribatiにて、機材のレンタルを含むダイビングのアレンジが可能。また、シュノーケリングのスポットに行きたい場合も Dive Kiribatiにてアレンジしてくれる。シュノーケリングセットの貸し出しも行っている。



Dive Kiribati

Mr. Kim Anderson

Tel : (686) 81139

E-mail : divekitibati@juno.com

Dive Kiribati Japan

〒111 東京都台東区谷中7-5-5-201

未分離デザイン研究所

Tel : 03-3821-7875

Fax : 03-3821-7898



●バードウォッチング

クリスマス島は世界で最も多種類の海鳥が観察できる場所として知られており、その種類は約18種類で生息数は約25万羽と言われている。グンカンドリ、シロアジ



サシ、クロアジサシ、カツオドリなどの野鳥を見ることが出来る。特にクック島に多く集まるクリスマス島には3地区 (Motu Tabu, Motu Upua, Ngaon te Taake) の野鳥保護区域が定められており、その地域は立ち入りが規制され、野鳥の住むあるがままの自然の姿を留めている。区域内に入りバードウォッチングを楽しむには、ライン・フェニックス省野生保護課 (Wildlife Conservation Information and Marketing Office) の許可をとらねばならず、その際に許可申請料として10オーストラリア・ドルが必要となる。同課はロンドンのキリバス銀行のすぐ近くにある。また、場所によってはボートが必要となるので、事前にホテル等でアレンジをしておくといよ。なお、保護地域に入る際は野生保護課の職員がガイドとして同行することになっている。

Wildlife Conservation Information
and Marketing Office

Tel : 686-81217, Fax : 686-81278



アオツラカツオドリ



野生保護課のオフィス

クリスマス島の宿泊施設

キャプテン・クック・ホテル

Captain Cook Hotel

クリスマス島最大のホテル。空港から車で約10分の便利な場所にあり、クリスマス島を訪れるパッケージツアーの観光客の大半はこのホテルを使用している。以前は軍隊の宿舎であった建物をそのまま改装して使用しているので、高級ホテルというわけにはいかないが、現地でのさまざまなアクティビティの手配が可能だ。JMBエンタープライズという小商店が向かいにあり、ちょっとした買い物にも便利。

地域 空港

部屋数 44

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

\$90～ (エアコン、トイレ付き)

コンタクト先

Tel : (686) 81230

E-mail : cchxmas@tskl.net.ki

主なサービス

各種フィッシング手配、シュノーケリング、バードウォッチング、その他観光ガイド



アドベンチャー・ダイブ&フィッシング・ロッジ

Adventure Dive & Fishing Lodge

ロンドンにある8部屋の小さなロッジ。クリスマス島唯一のインターネットカフェ (TSKL) から徒歩5分。

地域 ロンドン

部屋数 8

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

予約時に確認 (扇風機、トイレ、バス付き)

コンタクト先

Tel : (686) 81364

Fax : (686) 81246

E-mail : ote@tskl.net.ki

ote_tek@yahoo.com

主なサービス

フィッシング、ダイビング、シュノーケリング、バードウォッチング、サーフィン、キリバス式カヌー、学校訪問などの手配

クリスタル・ビーチ・フィッシング・リゾート

Crystal Beach Fishing Resort

空港とロンドンの中間にある海に面した宿泊施設。フィッシングをする人もしない人も楽しめるプログラムを用意している。

地域 タブワケア村

部屋数 6

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

予約時に確認 (エアコン、バス、トイレ、冷蔵庫付き)

コンタクト先

Tel : (686) 81070

E-mail : anita_jimt@yahoo.com

Website : www.flywatertravel.com

主なサービス

各種フィッシング、スキューバダイビング、サーフィン、島探検ツアー、シュノーケル

ミニ・クリスマス・ホテル

Mini Kiritimati Hotel

夫妻が経営するアットホームなホテル。立地がよく、観光客、サーファー、釣り客によく利用されている。特にサーフィンのベストスポットに近く、サーフィンをする

人には最適。

地域 ロンドン

部屋数 5

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

\$50～ (扇風機もしくはエアコン付き、バス・トイレは共有)

コンタクト先

Tel : (686) 81371

E-mail : minihotel@tskl.net.ki

主なサービス

各種フィッシング、サーフィン、スキューバダイビング



イカリ・ハウス

Ikari House

ロンドンの中心地にある比較的新しい宿泊施設。

地域 ロンドン

部屋数 3

料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

予約時に確認 (バス・トイレ付)

コンタクト先

Tel : (686) 81110

Fax : (+686) 81321

E-mail : contact@ikarihouse.com

jacobteem@aol.com



モーモー・ゲストハウス

Moumou Guest House

クリスマス島で唯一の伝統的なキリバス家屋 (Tebuia) に泊まれるところ。ロンドン近くのテネシー村の海辺に面しており、海風に吹かれながら沖合いに見えるカヌーやヨットを見ながらのんびりと過ごすのに最適。食事もキリバス式の料理が振舞われる。

地域 ロンドン

部屋数 3



料金 (1泊・オーストラリア・ドル)

予約時に確認 (バス付き)

コンタクト先

Tel : (686) 81121

主なサービス

食事 (リクエストがあれば)、空港送迎

クリスマス島の主なレストラン

クリスマス島では新鮮な果物や野菜は全て外部から持ち込まなければならないため、食事のラインナップは極めてシンプルかつ種類が少ない。

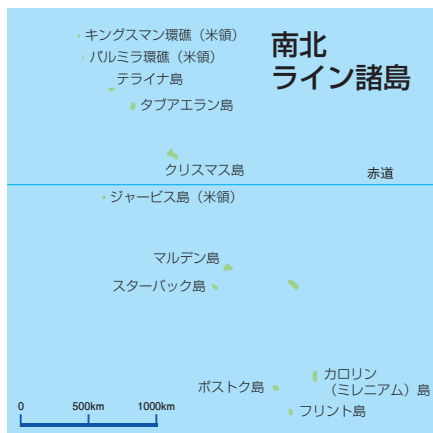
クリステナズ・レストラン

Kristena's Restaurant

ロンドンにあるレストラン。肉・魚料理 (ライス付き) が約3オーストラリア・ドルで提供される。

ライン諸島

クリスマス島を含むライン諸島は、南北

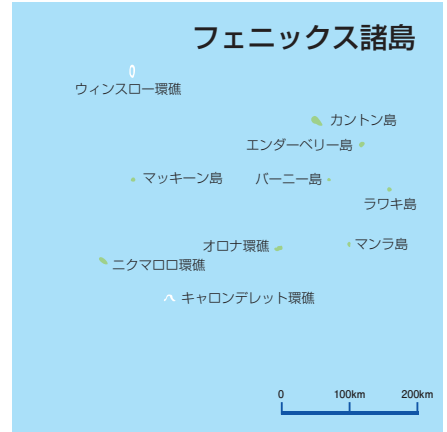


ライン諸島に分けられ、北ライン諸島（クリスマス島・タブアエラン・テライナ島）には有人島だが、南ライン諸島（マルデン島・スターバック島・フリント島・ヴォストック島・カロリン島）は全て無人島である。



フェニックス諸島

フェニックス諸島は8つの島（バーニー島・エンダーベリー島・カントン島・マンラ島・マッキーン島・ニクマロロ環礁・オロナ環礁・ラワキ島）から構成され、カントン島以外は無人島である。



関係先リスト

大使館・総領事館

- 在京キリバス共和国名誉総領事館
〒107-0061 港区北青山1丁目2-3 青山ビル13階
Tel : 03-5411-5967
Fax : 03-5411-5970
Website : <http://www.embassy-avenue.jp/kiri/index-j.html>
- 在キリバス日本国大使館（2009年10月現在未設置）
（在フィジー日本国大使館が管轄）
Fiji Embassy of Japan
2nd Floor, Dominion House, 1 Suva, Fiji
（G.P.O. Box 13045）
Tel : (679) 3304633
Fax : (679) 3302984
Website : http://www.fj.emb-japan.go.jp/JapaneseVersion/index_j.html

貿易・投資コンタクト先

Ministry of Commerce, Industry & Tourism
P.O. Box 510, Betio, Tarawa, Kiribati
Tel : (686) 3304633
Fax : (686) 3302984

観光コンタクト先

Kiribati National Tourism Office（タラワ本部）
P.O Box 487,
Betio, Tarawa

Kiribati National Tourism Office（クリスマス島支部）
Ronton (London) Village,
Line Islands,
Tel : (686) 25573
E-mail : tourisminfo@mcttd.gov.ki
Website : <http://www.visit-kiribati.com/>

写真ならびに記事にご協力頂いた方々（順不同・敬称略）

South Pacific Tourism Organisation

Kiribati National Tourism Office

キリバス共和国

発行日：2009年12月1日

発行：国際機関 太平洋諸島センター

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-22-14

明治大学 紫紺館1階

電話：03-5259-8419

FAX：03-5259-8429

Printed in Japan

無断での複写・複製はお断りします。

KIRIBATI

